

第 1 4 1 回市議会（定例会）請願文書表

（令和 6 年 9 月 6 日）

請願 番号	請願の趣旨	請願人	紹介議員	受付 年月日	託会 委員会
1	大島歯科医療に関する請願	大島地区振興協議会 会長 菅原 弘 外 11 名	白川 雄二 熊谷 雅裕 白幡 章	6.9.3	民生

請 願 第 1 号

大島歯科医療に関する請願

紹介議員 白川 雄二
熊谷 雅裕
白幡 章

1 請 願 の 趣 旨

歯科医師が多くいる首都圏等の歯科医師会と協議を行い、へき地の医療維持のため国の支援メニューを活用し、歯科医師確保に向けた大島における移住・定住に繋げる公募を行い、歯科医師確保に向け努力する事。

2 請 願 の 理 由

大島地区民にとって長年の念願でもあり、重要な医療機関の一つでもある大島歯科クリニックが令和4年5月に再開院されました。その後、順調に経営が続いているものと思われましたが、本年度体調不良との事で休業状態が続き、閉院することが先日地元紙において報道されました。大島歯科クリニックを利用していた患者や利用を希望している地区民にとって「寝耳に水」という事態で困惑が生じています。また地元地方紙によると市は医師の再公募は行わないとのことも報じられていました。このことは、大島地区民の不安を掻き立てるだけでなく、健康維持管理への不信感をも高めています。橋が架かったことにより気仙沼地区内にある歯科医療機関への通院が以前より便利になりましたが、高齢者の方々（高齢化率54%）や、自動車運転免許を返納した方、乳幼児を抱えた母親、保護者付き添いの学年児童の通院等については交通手段の確保が重要な課題であります。

苦渋の判断で閉院したと思いますが、へき地に指定され高齢化率が高い大島地区民にとって公共交通による気仙沼市内への通院は負担が大きく、また今後高齢者の方々が増えていくことが予想される中、対応が求められます。歯科医師会と再度協議をして頂き、大島地区の歯科医療体制の充実、住民の健康維持のためにも大島の歯科医療を維持されるよう請願します。

令和6年9月3日

大島地区振興協議会
会長 菅原 弘 外11名

気仙沼市議会議長 千葉 慶 人 様